

令和4年度「書道I」シラバス	単位数	2単位	
	使用教科書	書I 38 光村 書I 705	

1 学習の到達目標および評価方法等

学習到達目標	<p>1 書道における表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てる。</p> <p>2 書を楽しむ態度を通して感性を豊かにし、様々な場面に対応する書写能力を高める。</p> <p>3 1と2の学習を通して、自己を主体的に表現する能力と書的美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。</p>
課題、提出物等	<p>1 毎時提示された課題(作品等)を提出する。</p> <p>2 授業中に書いたものは、基本的に試書、添削を受けたもの、清書を問わずすべて提出する。</p>
評価方法	<p>1 提出作品等。その枚数や内容を中心に用具用材の扱いを含めた学習活動への参加の態度などをもとに総合的に評価する。</p> <p>2 提出作品については、「漢字仮名交じりの書」においては意図した表現に近づくことが出来たか、「漢字の書」においては対象となる古典の特徴を表現できたか、「仮名の書」においては線の特徴を理解できたか等が評価の基準となる。</p> <p>3 発言、本読み、板書など積極的な参加の態度には加点する。</p>
評価の観点	「関心・意欲・態度」、「書表現の構想と工夫」、「創造的な書表現の技能」、「鑑賞の能力」の4つの観点で評価する。

2 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容	評価方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 漢字仮名交じりの書を通して、書写能力を高め、生活に即した書表現に関心をもち、意欲的、主体的に活動を行い、その喜びを味わおうとしているか。 漢字の書を通して、書的美しさに関心をもち、意欲的・主体的に活動を行い、その喜びを味わおうとしているか。 仮名の書を通して、日本の伝統的な書之美に関心をもち、意欲的、主体的に活動を行い、その喜びを味わおうとしているか。 鑑賞活動を通して、書を愛好し日常生活における書への関心を高め、意欲的、主体的にその美しさを味わおうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加の仕方や態度 「ワークシート」の記入状況 提出作品
書表現の構想と工夫	<ul style="list-style-type: none"> 感性を豊かにし、漢字仮名交じりの書・漢字の書・仮名の書のよさや美しさを感じ取り、創造的な表現を工夫しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出作品 「ワークシート」の記入状況
創造的な書表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> 漢字仮名交じりの書を通して自己を主体的に表現する能力を伸ばし、実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を身に付けているか。 漢字の書を通して、自己を主体的に表現する能力を伸ばし、基礎的な技能を身に付けているか。仮名の書を表現するために必要な仮名の線の特徴を理解し、基礎的な技能を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出作品 作品ファイル 「ワークシート」の記入状況
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> 書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を幅広く理解し、そのよさや美しさを深く味わっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ワークシート」の記入状況

3 学習計画

月	時数	単元	主な学習内容・教材
4	6	導入	<ul style="list-style-type: none"> ・書写から書道へ ・書道で学習すること
5	12	漢字の書	【楷書】 ・漢字の変遷と書体 <ul style="list-style-type: none"> ・「孔子廟堂碑」 ・「九成宮醴泉銘」 ・「雁塔聖教序」 ・「顔氏家廟碑」 ・「龍門石窟」の書 ・「摩崖」の書
6	8		【行書】 ・行書の基本 <ul style="list-style-type: none"> ・「蘭亭序」 ・「争坐位文稿」 ・「蜀素帖」 ・「風信帖」 ・三筆・三跡の書
7			【草書】 ・「真草千字文」 【隸書】 ・「曹全碑」 【篆書】 ・「泰山刻石」
9			
10	6		作品の創作 <ul style="list-style-type: none"> ・構成を学ぶ ・文字の大きさや配置を考える ・古典を生かして書こう
11	8	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と種類 ・古筆に見る表現技法 ・基本的な筆使い ・平仮名 ・変体仮名 ・「高野切第三種」 ・「古今和歌集」 ・「関戸本古今和歌集」 ・「元永本古今和歌集」
12	6		作品の創作 <ul style="list-style-type: none"> ・古筆に見る仮名の紙面構成 ・「寸松庵色紙」「升色紙」 ・行書きと散らし書き ・文字の大きさや配置を考える ・古筆を生かして書こう
1	6	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書について ・イメージを文字で表現する
2 3	10	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・姓名印の作成

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の学習においてはまずよく見ることが大切です。自らの感性に基づき対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。 ・得られた感想は何に由来するものか、用具・用材、構成、また作者や時代背景といったさまざまな要素について考え分析する姿勢が大切です。 ・技法の習得にあたってはただ練習の枚数を重ねるのではなく自分が解決すべき課題や問題点を明確にしておくことが大切です。そのために「学習記録」は丁寧に書きましょう。 ・創作においては感興に応じた表現を効果的に行うため、形式や詩文、用具・用材などを積極的に選択していきましょう。 ・鑑賞においては感じたことを的確に表現する自分自身の言葉を捜していきましょう。
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業はチャイムと同時に始めますので、用具を準備し着席を完了させて下さい。 ・用具は個人の所有の物、学校の備品ともに大切に使いましょう。特に、筆と硯はきれいに洗いましょう。